【会報 第630号】
令和5年10月18日

特定非営利活動法人　草加市カヌー協会

草加パドラーズ

★草加パドラーズ事務局　info@soka-paddlers.com

安全にカヌーを楽しむ日にしよう

2023年10月18日（水）晴れ　気温16℃
【目的地】蒲生
【参加者】清水　木下　長谷川　村田（計4名）
【回収したごみ】30L袋　4袋　　45L袋　2袋

吉良さんがいらっしゃらない時に水曜日のリーダーをして頂いている澁谷さんが今日は不参加の上、先週から体験でいらっしゃった木下さんは乗り降りが不安との事で、朝様子を見にいらした間宮さんが心配されていました。木下さんにはレジャー艇をご提案し、私もレジャー艇で併走することを考えました。

2名でタンデム艇をとも考えましたが、重量のある艇を1人で操作した経験があまり無いので、安全を優先し、軽量で取回しの楽なレジャー艇を選択しました。

安全に
カヌーを楽しむ日にしよう

いつもはゴミで袋がいっぱいになるとタンデム艇に乗せてもらっていましたが、今日はタンデム艇の並走が無いので、清水さんと相談し「今日はゴミ拾いはだいたいにして、安全にカヌーを楽しむ日にしよう」という事になり蒲生方面に出航しました。

朝8時過ぎの水位は高く風も無かったので、上流に向かうのは楽でした。水は濁っているように感じましたが、匂いはなかったようです。

秋晴れで涼しく気持ちいい中、いつもの「ヤッホー」って言ってくれる子供さんからの声援が嬉しかったです。

ゴミを拾いながら出来るだけ木下さんからの離れないよう気をつけ、風間辺りで木下さんのご様子を確認すると大丈夫そうだったので、そのまま蒲生に行くことにしました。

並走しながらお話しをお聞きすると、木下さんは釣りがご趣味だとか、昨日綾瀬川で木下さんの竿に大きなハクレンがかかったそうです。

木下さんは趣味のルアー釣りを普段から頑張り過ぎているせいで右肘が痛いようですが、パドル操作は問題なく艇もまっすぐ進んでいたし、行きも帰りも上手にゴミを拾い、蒲生では1人で降りていらっしゃいました。

大きな魚の屍骸が

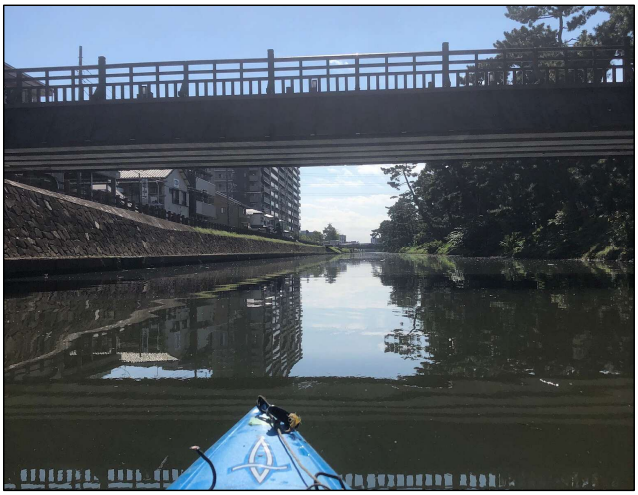
参加メンバーはみんな、行きでゴミ袋がいっぱいになったので、荷物の整理をするため上陸し、ゴミはパドル操作の邪魔にならないよう各カヌーの後部に固定しました。

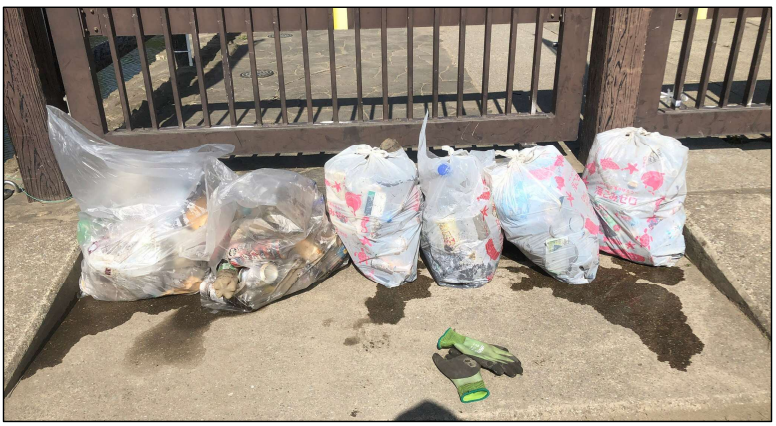
コンビニ休憩を終え蒲生を出る頃でも、来た時より水位が上がっていました。途中から下流方向に緩い流れが出始め、帰りも楽に戻って来れました。

外環の近所の釣り人がたむろしているところに、釣り人はいなかったけれど大きな魚の屍骸が捨ててあり、ハエがタカっていたのでパドルで川に落とし、魚の餌になってもらう事にしました。

帰りは保育園のお散歩の団体のお子さんが橋の上から見ていたので手を振ると、「手振ってくれた！」って聞こえ喜んでもらえたようです。

「手振ってくれた！」



鉄製の鍬が置いてあるのは怖い

※倉庫を開けてすぐのライフジャケットがかかっている辺りは出入りが多いのに、すぐ下に鉄製の鍬が置いてあるのは怖い気がしました。今日は混雑していなかったので注意できましたが、もし何かのタイミングで鋭利な部位が少しでも上を向いたとき、マリンシューズで踏んでしまったら、靴を突き抜け足を怪我をするかもと感じました。　　（長谷川記）